Product name = Shobu

Features＆Functions（I : Device Function）編

TOKIWA  
I.I : IOT Device Functions

作成者： CT開部 CTD制御開統G 2G  
 荒井　宏康

D 1.0.0-w1

＜目次＞

TOKIWA I.I : IOT Device Functions 1

1. 本書の目的と位置づけ 5

2. IOT概要 6

2.1. IOTの種類 6

2.2. 構成 7

2.2.1. IOT本体構成 7

2.2.2. 標準構成とオプション 7

2.2.3. トレイおよびオプション装着検知 7

2.2.4. オプションの故障と機能制限 8

2.2.5. キット構成 8

2.3. 生産性 9

2.3.1. IOT FPOT 9

2.3.2. IOT連続プリント速度 9

2.4. IOTの動作モード（省エネ対応） 9

2.5. 機能一覧 9

3. IOT機能詳細 11

3.1. 用紙 11

3.1.1. 用紙サイズ 11

3.1.2. 用紙種類 11

3.2. 用紙トレイ関連機能 12

3.2.1. SMHの用紙サイズ入力 12

3.2.2. 給紙トレイの用紙サイズの設定 12

3.2.3. 用紙種類の設定 12

3.2.3.1. 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-カスタム紙種) 12

3.2.3.2. 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-PGS1312SGP) 12

3.2.3.3. (欠番) 12

3.2.4. SMH Media Popup 12

3.2.5. 用紙の色属性の設定 12

3.2.6. 用紙の穴空き属性の設定 12

3.2.7. 用紙属性の設定 13

3.2.8. 用紙種類の優先順位 13

3.2.9. (欠番) 13

3.2.10. トレイ優先順位 13

3.2.11. 直接トレイ指定（DTS） 13

3.2.12. 直接トレイ指定（手差しトレイ） 13

3.2.13. 自動トレイ選択（APS） 13

3.2.14. 自動トレイ選択（クラスタ） 13

3.2.15. 自動トレイ選択（手差しトレイ） 13

3.2.16. 自動トレイ切り替え（ATS） 13

3.2.17. 手動トレイ切り替え(MTS) 13

3.2.18. Interposer 13

3.2.19. 手差しトレイ印刷確認 13

3.2.20. 自動トレイ選択(グループトレイ) 13

3.3. 用紙搬送関連機能 14

3.3.1. 部数指定 14

3.3.2. Collate/Uncollate指定 14

3.3.3. 自動両面 14

3.3.4. (欠番) 14

3.3.5. サンプルプリント 14

3.3.6. セパレートシート 14

3.3.7. (欠番) 14

3.3.8. (欠番) 14

3.4. Output装置関連機能 15

3.4.1. 排出先指定 15

3.4.1.1. (欠番) 16

3.4.2. 排出面指定 16

3.4.3. Offset排出指定 17

3.4.4. Staple指定 18

3.4.5. Punch指定 18

3.4.6. 折り指定（Z折りとLetter折り） 18

3.4.7. 折り指定（二つ折り/中折り）指定 18

3.4.8. 中綴じ指定 18

3.4.9. 角背仕上げ指定と小口断裁指定 18

3.4.10. 小冊子時の画像自動シフト 19

3.4.11. 折り筋と折り強化 19

3.4.12. 天地断裁 19

3.4.13. くるみ製本 19

3.4.14. 組み合わせ禁止に対する解決規則 19

3.4.15. フルスタック検知 19

3.4.16. Finisher一時停止 19

3.4.17. Folder Trayの用紙取り出しボタン 19

3.4.18. Booklet Trayの用紙取り出しボタン 19

3.4.19. HCS Trayの用紙取り出しボタン 19

3.4.20. くるみ製本トレイ(Perfect Binder Tray)の用紙取り出しボタン 20

3.4.21. HCS重連時の排出先自動切り替え 20

3.4.22. ジョブ連結(複数ジョブのセット結合) 20

3.5. 印字関連機能 21

3.5.1. 解像度と階調 21

3.5.2. カラーモードの切り替え 21

3.5.3. 印字エリア 23

3.5.4. イメージエンハンス 23

3.5.5. 線幅調整（白抜き文字の強調/黒文字の細線化） 23

3.6. デバイス状態の確認 24

3.6.1. IOTの状態 24

3.6.2. カバーの状態 24

3.6.3. ジャム情報 24

3.6.4. 用紙トレイの状態 26

3.6.5. 排出トレイ、出力装置の状態 26

3.6.6. 消耗品、定期交換部品の状態 27

3.6.6.1. (欠番) 31

3.6.6.2. (欠番) 32

3.6.7. 定着器の動作状態 32

4. 備考/補足 33

4.1. 用紙トレイ 33

4.1.1. 封筒の置き方 33

4.1.2. Tab紙の置き方 33

4.1.3. くるみ製本に関する補足事項(制限事項) 33

4.2. IOT機内温昇時の半速動作 33

4.3. 個別対応一覧 34

5. 改訂履歴 35

付録 – 別冊 ―  
Appendix オプション (Shobu編)  
Appendix 用紙仕様 (Shobu編)  
Appendix 消耗品 (Shobu編)

# 本書の目的と位置づけ

本書は、Shobu用の仕様を記述する。

**＜関連仕様書＞**

IOT 性能仕様書 本FFが対照としているプロダクトのIOT仮性能仕様書

MF性能仕様書 本FFが対照としているプロダクトのMF仮性能仕様書

GA-Finisher性能仕様書 Global A-Finisher性能仕様書  
GB-Finisher性能仕様書 Global B-Finisher性能仕様書  
GC-Finisher性能仕様書 Global C-Finisher性能仕様書

PF2.1 HCF性能仕様書 HCF PF2.1性能仕様書  
   
用紙・原稿定型サイズ表 本FFが対照としているプロダクトの仮性能仕様書\_用紙編

本書にて記載しているシステムデータ（IOT　NVM）の値と、システム基本仕様書/ChainLink編/SystemData/IOT(Finisher等含む)のシステムデータ　と差異がある場合は、ChainLink編の記述を優先する。

# IOT概要

## IOTの種類

IOTの種類については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。

下記において、

プリント速度の単位はPPM(Print per Minite)、

解像度の単位はdots per 25.4mm、

プロセススピードの単位は、mm/sec

である

<FX /IBG>

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| IOTの種類項目 | ShobuMF | | | |
| Low | | Mid | |
| プリント速度（白黒/カラー） | 25/25\*5 | 30/30  35/35 | 45/45 | 55/55 |
| データ処理解像度と階調 | 600x600/8　\*6  600x600/1  1200x1200/1 | 600x600/8　\*6  600x600/1  1200x1200/1 | 600x600/8　\*6  600x600/1  1200x1200/1 | 600x600/8　\*6  600x600/1  1200x1200/1 |
| 階調 | 256 | 256 | 256 | 256 |
| プロセススピード | 120 | 155(下記以外)  120　\*1 | 185 | 233(下記以外)  185　\*2 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| IOTの種類項目 | ShobuMF | |
| High | |
| プリント速度（白黒/カラー） | 65/65、70/70 |  |
| データ処理解像度と階調 | 600x600/8　\*6  600x600/1  1200x1200/1 |  |
| 階調 | 256 |  |
| プロセススピード | 308(下記以外)  233　\*3  185　\*4 |  |

\*1　　厚紙2～3、コート紙2～3、はがき（厚紙2A)、封筒、OHPフィルム、厚紙1(長尺紙1)、厚紙2(長尺紙2)の場合  
\*2　 上質紙(FXのみ)、厚紙1～3、コート紙1～3、はがき、ラベル紙、封筒、OHPフィルム、厚紙1(長尺紙1)、

　　厚紙2(長尺紙2)の場合  
\*3　　厚紙1、コート紙1、はがき（厚紙1A～1C）、ラベル紙の場合  
\*4　　厚紙2～3、コート紙2～3、はがき（厚紙2A）、封筒、OHPフィルム、厚紙1(長尺紙1)、

　　 厚紙2(長尺紙2)の場合

\*5　　FXのみ

\*6　　IOTでは1200ｘ2400/1で処理される。

<参照>  
IOT性能仕様書　3.2　プロセススピード

## 構成

### IOT本体構成

IOT本体構成については、「IOT性能仕様書」等を参照のこと。

### 標準構成とオプション

標準構成とオプションについては、「IOT性能仕様書」および「オプションリスト」を参照のこと。

本書での「オプション」の記載は、IOTデバイスとして着脱が可能な機能を表している。  
商品構成は「性能仕様書」を参照のこと。  
構成図は、性能仕様書を参照のこと。

### トレイおよびオプション装着検知

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| トレイ段数 | 自動検知 | ― | "1Tray"、"2Tray"、"3Tray"、"4Tray"、  "5Tray"、"6Tray"、"7Tray" |
| SMHの有無 | 標準 | ― | "無し"、"有り" |
| 2TMの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| TTMの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| 1段HCF（PF2 HCF）の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| 1段HCF（PF2.1 HCF）の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| 2段HCFの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |
| HCF-A3ノビの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |
| Interposer Trayの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |
| Inverterの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |
| Duplex Moduleの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| Center Tray #1の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" \*1 |
| Center Tray #1のオフセット排出機能の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| Center Tray #2の有無 | IOTNVM | ― | "無し"、"有り" \*2 |
| Center Tray #2のオフセット排出機能の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| Center Tray #2のInverterの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |
| Center Tray #2のタイプ | \*1 | ― | "タイプA"、"タイプB" |
| Side Trayの有無 | IOTNVM | ― | "無し"、"有り" \*3 |
| SCT(Single Catch Tray)の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| OCT(Offset Catch Tray)の有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| GA Finisherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| B Finisherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| SB Finisherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| GB Finisherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| CH Finisherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| GC Finisherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| D Finisherの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |
| Puncherの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| Booklet　Unitの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| Top Tray　Unitの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| Z折りFolderの有無 | 自動検知 | ― | "無し"、"有り" |
| MailBoxの有無 | \*1 | ― | "無し"、"有り" |

Punchの構成は、次のシステムデータで入手できる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| Puncherの構成 | 自動検知 | ― | "無し"、"2穴"、"3穴"、"4穴" |
|  |  |  |  |

### オプションの故障と機能制限

＜動作/内容＞

1. オプション故障時に使用できなくなる機能を下表に示す。（「－」は無関係、「なし」は故障検知はないの意。）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 故障オプション機能項目 | IOTオプション | | | | | |
| 給紙Tray | Duplex  Module | Center  Tray1 | CeneterTray2 | SideTray | Offset　\*2 |
| トレイ用紙サイズ自動検知 | 不可　\*1 | － | － | － | － | － |
| トレイ選択 | 不可　\*1 | － | － | － | － | － |
| トレイ用紙残量検知 | 不可　\*1 | － | － | － | － | － |
| 自動両面 | － | 不可 | － | － | － | － |
| 排出先選択(CenterTray1) | － | － | なし | － | － | － |
| 排出先選択(CenterTray2) | － | － | － | 不可 | － | － |
| 排出先選択(Side　Tray) | － | － | － | － | 不可 | － |
| フルスタック検知(CenterTray1) | － | － | － | － | － | － |
| フルスタック検知(CenterTray2) | － | － | － | 不可 | － | － |
| Offset | － | － | なし | 不可　\*1 | － | 不可　\*1 |

\*1　故障したトレイのみ不可となる。  
 \*2　各トレイに接続されたOffsetモジュール。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 故障オプション機能項目 | GA-Finisher | | GB-Finisher | | | |
| Finisher  Tray | Stapler | FinisherTray | Stapler | Punch | Booklet  Unit |
| 排出先選択（FinisherTray） | 不可 | － | 不可 | － | － | － |
| フルスタック検知 | 不可 | － | 不可 | － | － | － |
| Offset(FiｎisherTray) | 不可 | － | 不可 | － | － | － |
| Staple | 不可 | 不可 | 不可 | 不可 | － | － |
| Punch | － | － | 不可 | － | 不可 | － |
| 二つ折り（中折り） | － | － | 不可 | － | － | 不可 |
| Booklet | － |  | 不可 | － | － | 不可 |
| Fold | － | － | － | － | － | － |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 故障オプション機能項目 |  | GC-Finisher | | | | | |
| Top  Tray | Finisher  Tray | Booklet  Tray | Folder  Tray | Stapler | Booklet Unit | Punch |
| 排出先選択（TopTray） | 不可 | － | － | － | － | － | － |
| 排出先選択（FinisherTray） | － | 不可 | － | － | － | － | － |
| 排出先選択（BookletTray） | － | － | 不可 | － | － | － | － |
| フルスタック検知 | 不可 | 不可 | 不可 | － | － | － | － |
| Offset(FinisherTray) | － | 不可 | － | － | － | － | － |
| Staple | － | 不可 | － | － | 不可 | － | － |
| Punch | － | － | － | － | － | － | 不可 |
| 二つ折り（中折り） | － | － | 不可 | － | － | 不可 | － |
| Booklet | － | － | 不可 | － | － | 不可 | － |
| Fold | － | － | － | 不可 | － | － | － |

### キット構成

(IOT Device Functions Common編と同じ)

## 生産性

### IOT FPOT

定義および各値については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。

### IOT連続プリント速度

定義および各値については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。

<参照>  
IOT性能仕様書　3.5.2　同一原稿のプリントスピード

## IOTの動作モード（省エネ対応）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

<参照>  
IOT性能仕様書　3.1　動作モード

## 機能一覧

|  |  |
| --- | --- |
| 機能項目 | Shobu |
| トレイ用紙サイズ自動検知 | ○ |
| 用紙トレイの用紙サイズユーザー設定 | ○ |
| SMHの用紙サイズ設定 | ○ |
| 用紙種類の設定 | ○ |
| 用紙色属性の設定 | ○ |
| 用紙穴空き属性の設定 | × |
| 用紙属性の設定 | ○ |
| 用紙種類の優先順位 | ○ |
| 用紙トレイ優先順位 | ○ |
| 直接トレイ指定(DTS) | ○ |
| 自動用紙トレイ選択(APS) | ○ |
| 自動トレイ選択(クラスタ) | ○ |
| 自動トレイ切り替え（ATS） | ○ |
| Interposer | × |
| 部数指定 | ○ |
| コレートアンコレート指定 | ○ |
| 自動両面 | ○ |
| 手差し両面 | ○ |
| 排出トレイ選択 | ○ |
| フィニッシャトレイ選択 | ○ |
| メールボックス選択 | × |
| Offset排出 | ○ |
| Staple | ○ |
| Punch | ○ |
| Z折り | ○ |
| Letter折り (フォルダトレイ選択) | ○ |
| 二つ折り/中折り | ○ |
| 中綴じ | ○ |
| Booklet Trimer (ブックレットトレイ選択) | × |
| Booklet Punch (ブックレットトレイ選択) | × |
| フルスタック検知 | ○ |
| Finisher一時停止 | × |
| Folder Trayの用紙取り出しボタン | ○ |
| Booklet Trayの用紙取り出しボタン | × |
| 解像度/階調指定 | ○ |
| カラーモード切り替え | ○ |
| イメージエンハンス | ○ |
| 用紙トレイの状態通知 | ○ |
| 用紙トレイの用紙残量検知 | ○ |
| 排出トレイの状態通知 | ○ |
| 出力装置(Finisher)の状態通知 | ○ |

# IOT機能詳細

## 用紙

### 用紙サイズ

<動作内容>

変更なし

<<内蔵トレイに関する基本>>  
1.NVMによるサイズ切り替えは、定型サイズ切り替え1および定型サイズ切り替え2および定形サイズ切り替え3に対応する。

| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 | 備考 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 定形サイズ切り変え1 (IOT NVM) | CE | "用紙サイズグループに連動" | "用紙サイズグループに連動"  "A5 SEF"  "5.5x8.5 SEF" |  |
| 定形サイズ切り変え2 (IOT NVM) | CE | "用紙サイズグループに連動" | "用紙サイズグループに連動"  "7.25x10.5 LEF"  "B5 LEFと十六開 LEF" |  |
| 定形サイズ切り変え3 (IOT NVM) | CE | "用紙サイズグループに連動" | "用紙サイズグループに連動"  "SRA3(12.6x17.7) SEF"  "12x18 SEF" |  |

<補足>

1. 参考情報として、各用紙トレイ・排出トレイ等で使用可能な定形サイズを「用紙サイズ一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。
2. 参考情報として、サイズ検知モードにより検知サイズが切り替わる用紙を「用紙サイズ一覧 (Appendix 用紙仕様)」に示す。
3. 参考情報として、各用紙トレイ・排出トレイで使用可能な定形外サイズは、「用紙サイズ一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。
4. 参考情報として、Finisherで処理可能な後処理の種別を「排出先機能一覧 (Appendix 用紙仕様)」に示す。
5. 封筒はフラップを開き、後端側にセットする。共通編「5.1.3封筒の置き方」を参照のこと。(フラップを開いた状態/印字面が下になるタイプ)　封筒/はがきトレイとSMHは印字面が異なるため、セットする印字面は裏表が逆さになるようにセットする必要がある。
6. 用紙のフィード後に、フィードした用紙の副走査長と、検知したサイズの副走査長と異なっていると判断した場合、副走査長異常として、以後の給紙動作を停止する。副走査長異常の解除はトレイの再セット時に行う。

### 用紙種類

<動作内容>

1. 参考情報として、各用紙トレイ・排出トレイ等で使用可能な用紙種類「用紙種類一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。
2. 参考情報として、各用紙種類に設定可能な制御上の分類を「画質制御分類一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。

## 用紙トレイ関連機能

### SMHの用紙サイズ入力

＜動作/内容＞

1. “定型サイズ自動検知”指定時の動作

* SMHにセットされた用紙サイズの確定において、

* + 1. 主走査方向長で、サイズミスマッチとする条件は、± 9.3mm。
    2. 副走査方向長で、サイズミスマッチとする条件は、-13～+10mm(長尺：+30mm)。
    3. 封筒の場合はフラップ分を考慮し、副走査方向に60mmプラスしたサイズ以下であればサイズミスマッチを検出しない。
* GC-Finisherが接続されている場合、Finisher接続トレイへの出力指定を禁止する。

1. “フリーサイズ自動検知”はサポートしない。

### 給紙トレイの用紙サイズの設定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙種類の設定

＜動作/内容＞

1.　 参考情報を「Appendix 用紙種類」に示す。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 | 備考 |
| 封筒サポート | CE | "する" | "しない"  "する" | 用紙種類の封筒 |

#### 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-カスタム紙種)

(サポートしない)

#### 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-PGS1312SGP)

(サポートしない)

#### (欠番)

### SMH Media Popup

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙の色属性の設定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙の穴空き属性の設定

(サポートしない)

### 用紙属性の設定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙種類の優先順位

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### (欠番)

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### トレイ優先順位

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 直接トレイ指定（DTS）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 直接トレイ指定（手差しトレイ）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ選択（APS）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ選択（クラスタ）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ選択（手差しトレイ）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ切り替え（ATS）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 手動トレイ切り替え(MTS)

(サポートしない)

### Interposer

(サポートしない)

### 手差しトレイ印刷確認

(サポートしない)

### 自動トレイ選択(グループトレイ)

(IOT Device Functions Common編と同じ)

## 用紙搬送関連機能

### 部数指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Collate/Uncollate指定

＜動作/内容＞

本仕様書で規定するプロダクト(IOT)では、以下のようになる。

CenterTray1, CenterTray2,FinisherTray,TopTrayは裏面排出の排出トレイ(Facedown Tray)である。

SideTrayは表面排出の排出トレイ(Faceup Tray)である。

Print Serviceは、原稿ページ順を設定する。それ以外のDT Serviceは指定がなされない。

### 自動両面

(IOT Device Functions Common編と同じ)

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| 奇数ページもの強制両面 | KO | “片面” | 片面  両面 |

### (欠番)

### サンプルプリント

(サポートしない)

### セパレートシート

(サポートしない)

### (欠番)

### (欠番)

## Output装置関連機能

### 排出先指定

1. 各排出装置接続時に指定可能な排出先を示す。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 指定可能な排出先 | 標準 | Center Tray2 | Side Tray | GA-Finisher | GB-Finisher | GC-Finisher |
| Center　Tray1 | ○ | － | － | × | × | × |
| Center　Tray2 | × | ○ | － | × | ○ | ○ |
| Side　Tray | × | － | ○ | － | － | － |
| Finisher　Tray | × | － | － | ○ | ○ | ○ |
| Top　Tray | × | － | － | × | × | ○ |
| Booklet　Tray | × | － | － | × | × | ○ |

1. 以下に各排出装置（排出トレイ）の概要一覧を示す。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 排出先 | Center Tray1 | Center Tray2 | SideTray |
| 排出面 | Facedown | Facedown | Faceup |
| フル検知 | ○\*7 | × | × |
| Offset排出機能 | ○\*5 | ○ | × |
| Staple処理機能 | × | × | × |
| Punch処理機能 | × | × | × |
| Booklet処理機能 | × | × | × |
| 二つ折り処理機能 | × | × | × |
| Half Z折り処理機能 | × | × | × |
| C/Z折り処理機能 | × | × | × |
| 排出不可検知 | × | × | ○\*1 |
| 排出可能用紙トレイ | 制限なし | 制限なし | 制限なし |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 排出先 | FinisherTray | | | TopTray | Booklet | Folder |
|  | GA | GB | GC | GC | GC | GC |
| 排出面 | Facedown | Facedown | Facedown | Facedown | Facedown | Facedown |
| フル検知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Offset排出機能 | ○ | ○\*6 | ○ | × | × | × |
| Staple処理機能 | ○ | ○\*4 | ○ | × | × | × |
| Punch処理機能 | × | ○\*3 \*4 | ○ | ○ | × | × |
| Booklet処理機能 | × | ○\*3 | × | × | ○ | × |
| 二つ折り処理機能 | × | ○\*3 | × | × | ○ | ○ |
| Half Z折り処理機能 | × | × | × | ○ | ○ | × |
| C/Z折り処理機能 | × | × | × | × | × | ○ |
| 排出不可検知 | ○\*2 | ○\*2 | ○\*2 | × | ○\*2 | × |
| 排出可能用紙トレイ | 制限なし | 制限なし | 制限なし | 制限なし | 制限なし | 制限なし |

\*1 SideTrayが折りたたまれた状態を検出したとき。  
\*2 StapleNGを検出したとき。  
\*3 オプション装着時のみ。  
\*4 折り処理、Booklet処理との併用は不可。  
\*5 Taiga以外は機能する。

\*6 Booklet処理との併用は不可。

1. Default Trayを示す。

|  |  |
| --- | --- |
| オプション構成 | Default Tray |
| GA-Finisher構成 | Stacker |
| GB-Finisher構成 | Center Tray2 |
| GC-Finisher構成 | Center Tray2 |
| 上記以外 | Center Tray1 |

指定された排出先が未装着や故障のために使用不可能な時、排出不可な用紙サイズ、用紙種類の場合、折りなどの後処理が解除された場合に排出先を切り替える。切り替えは次の規則に従う。

| 排出先指定 | 切り替わり先 |
| --- | --- |
| Finisher Tray | Finisher Top Tray |
| Booklet Tray | Finisher Top Tray |
| Folder Tray | Finisher Top Tray |

1. Finisher Tray用のCompiler Trayに一旦排出し、蓄積した上で排出する。蓄積は、セット単位で行うが、OffsetまたはStapleが指示された場合は、そのセット単位で排出する。  
   ただし、Stapleが指示されていないときは、システムデータ「Compiler Tray制限枚数」で規定される用紙枚数蓄積した時点で排出される。(GB-Finisher)
2. 「センタートレイの代替排出先」のシステムデータは以下を参照。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| Compiler Tray制限枚数　(小サイズ) (IOT NVM) | CE | 10枚 | “2枚”～”50枚” |
| Compiler Tray制限枚数　(大サイズ) (IOT NVM) | CE | 10枚 | “2枚”～”50枚” |

\* 小サイズと大サイズは、用紙のサイズで区別する。用紙サイズが小サイズであるとは、サイズが副走査方向で216mm以下である場合である。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| センタートレイの代替排出先の指定 | CE | “指定なし” | “指定なし”  “フィニッシャトップトレイ”  “フィニッシャスタッカ” |

#### (欠番)

### 排出面指定

(サポートしない)

### Offset排出指定

＜動作/内容＞

1. Offset位置は、以下のとおりである。  
   Center Trayは**"フロント"**、**"リア"**、**"標準位置"**の3個所。  
   GA/GB/GC-FinisherのFinisher Trayは、**"フロント"**、**"リア"**の2個所。
2. 各FinisherにてOffset排出不可能な用紙サイズの場合はストレート排出される。(“フロント”、”リア”のどちらでもない)
3. 「静音オフセット動作」の設定値によってオフセット動作を変更する。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| Offset動作の指定 (センタートレイ) | KO | "Offsetなし" | "Offsetなし"固定 |
| Offset動作の指定 (センタートレイ2) | KO | "Offsetなし" | "セット単位"  "ジョブ単位"  "Offsetなし" |
| Offset動作の指定　(フィニッシャトレイ) | KO | "セット単位" | 同上 |
| "Offsetなし" \*1 |
| Staple時のOffset動作の指定 | CE | "セット単位" | 同上 |
| 静音動作モード | CE | "静音動作" | "従来動作"  "静音動作" |

\*1 “GA/GB-Finisherが接続された事がない状態” (※1)で、GA/GB-Finisherが接続された場合、Offset動作の指定(フィニッシャトレイ)の設定値を自動的に"Offsetなし"に変更する。”GA/GB-Finisherが接続された事がない状態”とは、GA/GB-Finisherを外した場合、もしくは、GA/GB-Finisherから他のFinisherに接続し直した場合も含む。

＜制限事項＞

1. GC-Finisherでは、DualStaple時にはControllerからのOffset指示有無に関わらず、主走査幅に応じた排出位置に排出される。
2. GB/GC-Finisherでは、主走査幅の異なるミックスサイズを検知時はControllerからのOffset指示有無に関わらず、ストレート排出される。

### Staple指定

＜動作/内容＞

1. Staple可能な位置と用紙サイズの関係を「使用可能用紙サイズ一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。
2. GB-Finisher接続時にはStaple位置として(**"フロントシングル"**、**"リアシングル"**、**"センターデュアル"**、**"Sta****pleなし"**)を指定することができる。
3. GC-Finisher接続時にはStaple位置として(**"フロントシングル"**、**"リアシングル"**、**"センターデュアル"**、**"センター4ヵ所"、"Stapleなし"**)を指定することができる。
4. GA-Finisher接続時にはStaple位置として(**"フロントシングル"**、**"リアシングル"**、**"センターデュアル"、"Stapleなし"**)を指定することができる。
5. GA-Finisher ではStapleセット内での用紙幅(主走査方向幅)が異なるミックスサイズ（用紙サイズが複数）の場合には、**"Stapleを解除する"**の動作となる。  
   GB/GC-FinisherではCE設定により**”Stapleを強行する”**の設定にすることができる。
6. GA-Finisherにて厚紙を使用してStapleする場合、表紙として使用することを想定しており、1セット内に3枚以上存在する場合は性能保証しない。
7. GB-Finisher接続時にはStaple種別として(**"針あり"**、**"針なし"**)を指定することができる。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| 異幅Mix Size Staple時の動作(GA-Finisher) | CE | "解除する" | "解除する"固定 |
| 異幅Mix Size Staple時の動作(GB/GC-Finisher) | CE | “解除する” | “解除する”  “強行する” |
| 1セットの最大用紙枚数　(GA-Finisher　小サイズ) （IOT NVM） | CE | "50枚" | “10枚”～”70枚” |
| 1セットの最大用紙枚数　(GA-Finisher　大サイズ) （IOT NVM） | CE | "30枚" | “10枚”～”50枚” |
| 1セットの最大用紙枚数　（GB-Finisher　針あり） （IOT NVM） | CE | "50枚" | “10枚”～”70枚” |
| 1セットの最大用紙枚数　（GB-Finisher　針なし） （IOT NVM） | CE | "10枚" | “5枚”～”20枚” |
| 1セットの最大用紙枚数　（GC-Finisher　針あり） （IOT NVM） | CE | TBD | TBD |
| 1セットの最大用紙枚数　（GC-Finisher　針なし） （IOT NVM） | CE | TBD | TBD |

### Punch指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 折り指定（Z折りとLetter折り）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 折り指定（二つ折り/中折り）指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 中綴じ指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 角背仕上げ指定と小口断裁指定

(サポートしない)

### 小冊子時の画像自動シフト

(サポートしない)

### 折り筋と折り強化

(サポートしない)

### 天地断裁

(サポートしない)

### くるみ製本

(サポートしない)

### 組み合わせ禁止に対する解決規則

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### フルスタック検知

＜動作/内容＞

* 1. GA/ GB/GC-Finisherでは**”ミックススタックフル”**、**”フルスタックフル”**、**”ステープルセット数フル”**が検知される。
  2. **”ミックススタックフル”**はミックススタック制限のシステムデータが**”制限する”**に設定されている時のみ検知する。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| ミックススタック制限　(IOT　NVM) | CE | 制限する | 制限する  制限しない |
| Staple最大積載可能部数(GA-Finisher)　(IOT　NVM) | CE | “30部” | “1部”～“100部” |
| Staple最大積載可能部数(GB-Finisher)　(IOT　NVM) | CE | “100部”  “75部”  “70部”  “50部” | “50部”～“150部”  “50部”～“150部”  “50部”～“150部”  “25部”～“150部” |
| Staple最大積載可能部数(GC-Finisher)　(IOT　NVM) | CE | TBD | TBD |

### Finisher一時停止

(サポートしない)

### Folder Trayの用紙取り出しボタン

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Booklet Trayの用紙取り出しボタン

(サポートしない)

### HCS Trayの用紙取り出しボタン

(サポートしない)

### くるみ製本トレイ(Perfect Binder Tray)の用紙取り出しボタン

(サポートしない)

### HCS重連時の排出先自動切り替え

(サポートしない)

### ジョブ連結(複数ジョブのセット結合)

(サポートしない)

## 印字関連機能

### 解像度と階調

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### カラーモードの切り替え

＜動作/内容＞

1. ジョブのカラーモードは”BW”と”それ以外”とする。
2. ページ単位で"B/W"、"カラー"の2種類のカラーモードを切り替え可能。
3. 本FFが対照としているプロダクトでは高グロスモードはサポートしない。  
   高グロスモードに対応する紙質は普通紙分類(上質紙、普通紙、再生紙、裏紙、ユーザ定義1～5、穴空き紙、レターヘッド紙、プレプリント紙、その他)に限定する。  
   普通紙分類以外の紙質が指定された場合は高グロスモードの指示を無視して、指定紙質に適応した制御を行う。  
   高グロスモードの指示は、システムデータ「高グロスモードの有無」の設定が“あり“の時のみ有効であり、システムデータの設定が”なし“の時に高グロスモードの指示を受けた場合はジョブアボートする。
4. 「Y,M,Cの1st-BTR」コンタクト/リトラクト制御を実施する。  
   カラーモードが「自動(PGS0081SGP)」の場合、起動時の動作モード決定は以下のように行う。  
   1枚目のシートにカラー面が含まれていたら、コンタクトモードで起動する。  
   1枚目のシートがBW面だけであったら待ち状態に入り、後続のシートを待ち合わせる。  
   待ち合わせ解除時、全てのシートがBWであったらリトラクトモードで起動する。待ちモード解除条件は以下のとおり。  
   　・カラー面を含むシートを検出した。  
   　・規定時間(2秒:IOTNVMにて変更可)経過した。  
   　・ジョブの終了を検出した。  
   起動後の動作モード切替判断は以下のように行う。  
   コンタクトモードで処理中、白黒ページが連続基準枚数(5面:IOTNVMにて変更可能)連続して続いた場合、以下の条件でリトラクトモードに切り替える。  
   　・この時点で認識している後続シート規定枚数(3枚:IOTNVMにて変更可能)内にカラー面がない。  
   　・この時点で認識している後続シート規定枚数(3枚:IOTNVMにて変更可能)内にジョブの最終シートがない。  
     
   白黒ページの連続性はジョブ単位でカウントする。  
   リトラクトモードで処理中、カラーページを認識した時点でコンタクトモードに切り替える。   
   何らかの条件によりIOTが停止した場合は、起動時の動作モード決定方法に従って再起動される。  
     
   システム設定により、カラーモードが「自動(PGS0081SGP)」の場合のコンタクト/リトラクト切り替え制御を行わないモードに切り替えることが可能。「切り替え無し」が選択されると、IOTはPGS0081SGP時、常にコンタクトモードで動作する。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| <<MFモデル>>  1st BTRのホームポジション  (Controller NVM) | KO | \*1 | “コンタクト”  ”リトラクト” |
| ≪Pモデル≫  1st BTRのホームポジション  (Controller NVM) | KO | “コンタクト” | “コンタクト”  ”リトラクト” |
| ≪Taiga/KisyuP≫  1st BTRのホームポジション  (Controller NVM) | KO | “コンタクト” | “コンタクト”  ”リトラクト” |
| PGS0081SGP動作切り替えモード (Controller NVM) | KO | “標準切り替え” | “標準切り替え”  “切り替えなし” |
|  |  |  |  |

\*1　 PDI(コピー時のカラーモードデフォルト値)をもとに決定する。

PDIから得られた値により次のようになる。

“自動(PGS0081SGP) “、“4色カラー“、“2色カラー“、“単色カラー“ →　“コンタクト”

“白黒“、“無し“ →　”リトラクト”

### 印字エリア

＜動作/内容＞

1. タブ紙は、サポートしない。
2. 穴空き紙に対する特別な縁けしは行わない。
3. 全面プリントは、サポートしない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 意味 | 規定 | 最大サイズ |
| 印字可能エリア | 用紙に対してイメージを載せることができるエリア | [用紙サイズー縁消し量]と右記の最大サイズの小さい方  ex) 縁消し調整値がデフォルトの値だとすると、 用紙=A3SEFなら293.0mmx414.0mm  用紙=13x19インチなら305.0mm x476.6mm | 305.0mmx476.6mm  長尺サイズ実施時は幅 305.0 mm × 長さ 1194.0 mmを印字可能領域とする |
| 印字保証エリア | 用紙に載せたイメージに対して像かけや画質の劣化がないことを保証するエリア | [用紙サイズー縁消し量]と右記の最大サイズの小さい方  ex) 縁消し調整値がデフォルトの値だとすると、 用紙=A3SEFなら293.0mmx414.0mm  用紙=13x19インチなら297.0mm x476.6mm | 297.0mmx476.6mm |

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| 縁消し調整値（先端）　　　　(IOTNVM) | CE | 4.0 | 4.0mm～255.0mm（0.1mm単位） |
| 縁消し調整値（後端）　　　　(IOTNVM) | CE | 2.0 | 2.0mm～255.0mm（0.1mm単位） |
| 縁消し調整値（サイド） (IOTNVM) | CE | 2.0 | 2.0mm～255.0mm（0.1mm単位） |

### イメージエンハンス

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 線幅調整（白抜き文字の強調/黒文字の細線化）

(サポートしない)

## デバイス状態の確認

### IOTの状態

(変更点なし)

### カバーの状態

【状態】

<< IOT >>

* Front Cover Interlock
* Left Hand Cover Interlock
* Tray Module Left Hand Cover Interlock
* Trans Path Drawer Interlock

<< HCF>>

* HCF Side Out
* HCF Transpoｒt　Cover

<< GA-Finisher >>

* Cover Open Interlock

<< GB-Finisher >>

* Front Cover Interlock
* HTU Cover Interlock
* Eject Cover Open
* Booklet Cover Open
* Booklet Safety SW Open
* Booklet オプション SW Open

<< GC-Finisher >>

* TBD

＜制限注意事項＞

1. システムデータ「IOT Interlock情報 (2)」にセットされるインターロックはない。

### ジャム情報

＜内容＞

【状態】

<<Jam Zone IOT>>

* Tray1
* Tray2
* Tray3 (3TM/TTM)
* Tray4 (3TM/TTM)
* MSI
* LHL (L/H Low)
* TP（Trans path）
* LH1（Left Hand #1）
* LH2（Left Hand #2）
* LHH（Left Hand High）
* DUP1（Duplex #1）
* DUP2（Duplex #2）
* FU（Face up）
* LHOR（Left Hand Open Required）

<<Jam Zone HCF　PF2.1>>

* HT(HCF Transport)
* HCF(HCF Tray)
* HE(Transeport Exit)
* HCFIF1(HomePositonSW(Open))
* HCFIF2(HomePositonSW(Close))

<<Jam Zone GA‐Finisher>>

* E(Entrance Path)
* T(Traynsport Path)
* C(Compile Tray)

<<Jam Zone GB‐Finisher>>

* H (H-Tra Path)
* T1 (Traynsport Path1)
* T2 (Traynsport Path2)
* CMP1(Compile Tray#1)
* CMP2(Compile Tray#2)

<<Jam Zone GC‐Finisher>>

* TBD

＜制限注意事項＞

### 用紙トレイの状態

1. トレイ状態

【状態】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 状態 | Tray1 | Tray2 | Tray3 | Tray4 | SMH | HCF | 備考 |
| 給紙可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 用紙が入っていて給紙が可能な状態 |
| 用紙なし | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 用紙が入っていない状態 |
| トレイなし | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | トレイが抜かれている状態\*1 |
| リフトアップ中 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | トレイがセットされ、リフトアップしている状態 |
| 使用不可 | × | × | × | × | × | × | トレイが利用不可の状態 |
| 故障 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 故障により使用不可能な状態 |
| 用紙サイズ不明 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 用紙サイズが検知できない状態 |
| 不明 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 状態が不明 |
| 未装着 | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 未装着時。 |

\*1LiftUpNGの状態は「トレイなし」の状態として表す。LiftUpNGの状態はトレイの抜き差しで回復可能。

1. 用紙残量情報

【状態】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 用紙残量 | Tray1 | Tray2 | Tray3 | Tray4 | SMH | HCF | 備考 |
| 用紙残量0％（用紙なし） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 用紙切れ |
| 用紙残量25％ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ほぼ1/4未満 |
| 用紙残量50％ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ほぼ1/4以上2/4以下 |
| 用紙残量75％ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ほぼ2/4以上3/4以下 |
| 用紙残量100％ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ほぼ3/4以上 |
| 用紙残量不明 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 不明 |

1. 用紙サイズと向き

(変更点なし)

1. 用紙種類  
   (変更点なし)

### 排出トレイ、出力装置の状態

1. 排出トレイ、両面モジュールの状態

【状態】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 状態 | Center Tray1 | Center Tray2 | Side Tray | Finisher　Tray | Top　Tray | Booklet　Tray | Folder  Tray | 両面モジュール | 備考 |
| 出力可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 排紙が可能な状態 |
| フル | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 用紙がフルの状態 |
| トレイ抜け | × | × | × | × | × | × | ○ | × | トレイが抜けている状態 |
| 故障 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 故障により使用不可能な状態 |
| 不明 | × | × | × | × | × | × | × | × | 状態が不明 |
| 未装着 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 未装着時 |

【特記事項】

SideTrayが折りたたまれているとき、およびStapleNGが検出された時の状態は「出力可」として表す。

1. Finisherの状態

(変更なし)

### 消耗品、定期交換部品の状態

＜内容＞

消耗品一覧(ShobuMF(FX/IBG))

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| # | 消耗品 | CRU/  ERU | 最大容量通知  （単位） | | 寿命達成時  動作 | HFSI  有無 | HFSI リセット実施 | 新品  検知 | 備考 |
| PV | 0.1g |
| 1 | トナーカートリッジ(Y/M/C/K) | CRU | 有 | 有 | 停止 | 無 | － | あり | \*1 |
| 2 | ドラムカートリッジ(Y/M/C/K) | ERU | 有 | 無 | 停止\*2 | 無 | － | あり | \*1 |
| 3 | トナー回収ボックス | CRU | 有 | 無 | 停止 | 無 | － | あり |  |
| 4 | Fuser Assy | ERU | － | － | 継続 | 有 | 自動 | あり |  |
| 5 | IBT Belt Assy | ERU | － | － | 継続 | 有 | 手動(エンジニア) | なし |  |
| 6 | IBT Belt CLN | ERU | － | － | 継続 | 有 | 手動(エンジニア) | なし |  |
| 7 | 2nd BTR Unit | ERU | － | － | 継続 | 有 | 手動(エンジニア) | なし |  |
| 8 | 臭気キッド | ERU | － | － | 継続 | 有 | 手動(エンジニア) | なし |  |

\*1 Y/M/C寿命達成時、白黒印刷は可能。

\*2 「寿命間近」後、「寿命(停止)」と「寿命(継続)」のどちらの状態となるかはIOT-NVM(「ドラム寿命時の動作」)にて切り替え

られる。 「寿命(継続)」となった後、一定量のプリント実施後、「寿命(停止)」となる。

1. トナーカートリッジ

【説明】

Y、M、C、K毎に、トナーカートリッジの状態を通知する。

【状態】

* 利用可
* トナー切れ間近(Pre)
* トナー切れ間近
* トナーなし
* ミスセット
* タイプミスマッチ

【残量】

* 残量を1％単位で通知する。　残量0％(トナー切れ)　～　残量100％
* 残量不明 (初期化時、ミスセット時など)

【最大装填量】

* トナーカートリッジの最大装填量を1/10グラム単位で通知する  
  通知タイミングは、トナー交換時、PowerOn時、スリープ復帰時。

　　　【交換日】

* 新品トナー設置日時を、年/月/日/時/分/秒　で通知する。  
  通知タイミングは、トナー交換時、PowerOn時、スリープ復帰時。  
  PowerOn時やスリープ復帰時にCRUMから情報が取得できない時は、年/月/日/時/分/秒　すべて0とする。

【累積使用量】

* IOTデバイスでの通算のトナー使用量を1/10グラム単位で通知する。  
  通知タイミングは、PowerOn時、スリープ復帰時。

【特記事項】

Y,M,Cにてトナーなし、ミスセット、タイプミスマッチ、故障が発生したとき、白黒印刷は実施可能。

1. ドラムカートリッジ

【説明】

Y、M、C、K毎に、ドラムカートリッジの状態を通知する。

【状態】

* 利用可
* 寿命間近(Pre)
* 寿命間近
* 寿命(継続)
* 寿命
* ミスセット
* タイプミスマッチ

【最大使用可能量】

* ドラムの最大印刷可能量を面数単位で通知する。A4LEF、白黒、片面印刷時の面数を通知する。  
  通知タイミングは、ドラム交換時、PowerOn時、スリープ復帰時。

【使用可能残量】

* ドラムの使用可能残量を1%単位で通知する。　残量0%(寿命)　~　残量　100%
* 残量不明　(初期化時、ミスセット時など)

【交換日】

* 新品ドラム設置日時を、年/月/日/時/分/秒 で通知する。

通知タイミングは、ドラム交換時、PowerOn時、スリープ復帰時。

PowerOn時やスリープ復帰時にCRUMから情報が取得できない時は、年/月/日/時/分/秒 すべて0とする。

【特記事項】

「寿命間近」後、「寿命」と「寿命(継続)」のどちらの状態となるかはIOT-NVM(「ドラム寿命時の動作」)にて切り替えられる。  
「寿命(継続)」となった後、一定量のプリント実施後、「寿命」となる。  
Y,M,Cにて寿命、タイプミスマッチ、故障が発生したとき、白黒印刷は実施可能。

1. トナー回収ボックス

【説明】

トナー回収ボトルの状態を通知する。

【状態】

* 利用可
* フル間近(Pre)
* フル間近
* フル
* ミスセット

【特記事項】

1. Fuser Assy

【説明】

定着ユニットの寿命情報を通知する。

【状態】

* 利用可
* 寿命間近
* 寿命(継続)

【特記事項】

1. IBT Belt Assy

【説明】

IBT Belt Assy (中間転写ユニット)の寿命情報を通知する。

【状態】

* 利用可
* 寿命間近
* 寿命(継続)

【特記事項】

1. IBT Belt Cleaner Assy

【説明】

IBT Belt Cleaner Assyの寿命情報を通知する。

【状態】

* 利用可
* 寿命間近
* 寿命(継続)

【特記事項】

1. 2nd BTR Unit

【説明】

2nd BTR Unit(転写ロール)の寿命情報を通知する。

【状態】

* 利用可
* 寿命間近
* 寿命(継続)

【特記事項】

1. 臭気キッド

【説明】

臭気キッドの寿命情報を通知する。

【状態】

* 利用可
* 寿命（継続）

【特記事項】

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| ドラムカートリッジ寿命時動作 (IOT NVM) | CE | 停止設定(FX/IBG) | 停止設定  継続設定 |
| トナーカートリッジの残量  (Y、M、C、Kごと) | 自動設定 | なし | 0%～100％  不明 |
| トナーカートリッジの状態  (Y、M、C、Kごと) | 自動設定 | なし | 利用可  トナー切れ間近(Pre)  トナー切れ間近  トナーなし  ミスセット  タイプミスマッチ |
| トナーカートリッジの最大装填量 | 自動設定 | なし | 1/10グラム単位 |
| トナーカートリッジの設置日時 | 自動設定 | なし | 年/月/日/時/分/秒 |
| トナー累積使用量 | 自動設定 | なし | 1/10グラム単位 |
| ドラムカートリッジの状態 (Y、M、C、Kごと) | 自動設定 | なし | 利用可  寿命間近(Pre)  寿命間近  寿命  寿命(継続)  ミスセット  タイプミスマッチ |
| ドラムカートリッジの最大使用量  (Y、M、C、Kごと) | 自動設定 | なし | 面単位  (A4L/BWを1面とする) |
| ドラムカートリッジの使用可能残量  (Y、M、C、Kごと) | 自動設定 | なし | 0％～100％  不明 |
| トナー回収ボトルの状態 | 自動設定 | なし | 利用可  フル間近(Pre)  フル間近  フル  ミスセット |
| Fuser　Assy(定着ユニット)の状態 | 自動設定 | なし | 利用可  寿命間近  寿命(継続) |
| IBT Belt Assyの状態 | 自動設定 | なし | 利用可  寿命間近  寿命(継続) |
| IBT Belt Cleaner Assyの状態 | 自動設定 | なし | 利用可  寿命間近  寿命(継続) |
| 2nd BTR Unit(転写ロールユニット)の状態 | 自動設定 | なし | 利用可  寿命間近  寿命(継続) |
| 臭気キッドの状態 | 自動設定 | なし。 | 利用可  寿命(継続) |
| トナー回収ボトルNearFull時のメッセージ切り替え | CE | Changeしない  (交換時期) | Changeしない(交換時期)  Changeする(予備を用意) |

＜例外処理＞

なし

＜制限注意事項＞

* 1. 各消耗品の容量については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。
  2. 3rd Party Modeの(移行条件、復帰条件などの)詳細な仕様について、本仕様書では記載しない。

#### (欠番)

#### (欠番)

### 定着器の動作状態

【待ち時間】

* 待ち時間(単位は分)  
  本システムでは通知されない。(0に固定)

# 備考/補足

## 用紙トレイ

### 封筒の置き方

IOT-FF付録を参照。

### Tab紙の置き方

(サポートしない)

### くるみ製本に関する補足事項(制限事項)

(サポートしない)

## IOT機内温昇時の半速動作

(サポートしない)

## 個別対応一覧

ここでは、個別対応および個別対応的機能について記載する。

|  |  | 項目 | 内容 | 対象 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

# 改訂履歴

| K版 | 改訂日 | 改訂者 | 項目 | 理由/内容 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| D1.0.0.  Draft-w1 | ’20.03.17 | 荒井 | All | DDF-IOT-PF3-Botan-D1.0.0.docxをBaseに  Shobu-IOTFFを作成。 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |